

# ひとり1改革運動

## 「富士山の世界文化遺産登録を応援しよう」改革賞

### 民間委託による不法投棄パトロールの効果的運用

【東部健康福祉センター 廃棄物課】



富士山世界遺産関連地域を含む富士山麓地域は、交通の便が良く森林が多いことなどから、不法投棄発見件数が管内の6割を占めており、県内でも不法投棄が多い地域となっています。

このため、廃棄物リサイクル課と連携し、民間警備会社にパトロール業務を委託していますが、限られた日数で市町ごとに広範囲な地域をパトロールしていました。

そこで、より効果的な運用を図るため、過去の不法投棄発見状況から「不法投棄マップ」を作成し、このマップを基に重点的な監視を実施しました。

その結果、富士山麓地域の不法投棄発見件数が、昨年同期比で約3割減少しました。

#### 取組にあたって工夫した点は？

- ①静岡県地理情報システム(電子マップ)を利用し、過去に不法投棄された場所をプロットすることで、発生場所の『可視化』を行いました。世界遺産申請以降は、新たに関連地域を明示し、重点監視を行いました。
- ②管内14市町別に、不法投棄発見状況を集計してウェイトを算出し、リスク評価に応じて市町別年間監視回数を決定しました。
- ③市町に委託パトロールの内容を毎月通知し、各市町における一般廃棄物不法投棄パトロール業務との連携した監視強化を実施しました。

#### 今後に向けた取組は？

今回作成した不法投棄マップを関係機関に情報発信して、より一層の監視強化を図りたいと考えています。

→ 不法投棄マップ



#### 効果として実感している点は？

- ・富士山の環境保全意識の醸成もあり、富士山麓地域(世界遺産関連地域を含む)の産業廃棄物不法投棄発見件数が、本年度8月20日現在、昨年同期比で約3割減少しました。
- ・加えて、富士地区での一般廃棄物不法投棄発見件数も減少しており、富士山世界文化遺産登録をわずかでも応援できた実感しています。

#### 静岡文化芸術大学 田中教授から一言

地理情報システム(GIS)の情報を利用して行政活動を改善する手法は、海外では警察活動などでよく用いられています。

廃棄物課では、この先進的な手法を応用して大きな効果を上げることにも成功しています。しかも追加的費用はほとんどないので、費用対効果の大きい大変優れた取り組みです。

# ひとり1改革運動

## 「富士山の世界文化遺産登録を応援しよう」改革賞

### 富士山頂から静岡茶をプレゼント

【経済産業部 茶業農産課】



▲富士山頂郵便局にお茶を運ぶ

静岡茶の全国的PR及び富士山の世界文化遺産登録の機運醸成を図るため、これらを一体的に全国にアピールできないか考えました。そこで、特製封筒に県内産のお茶を入れて、静岡茶のキャンペーン隊(CHA88)が富士山頂まで運び、「富士山頂郵便局」の消印証明を受けて全国の希望者3,776人に抽選でプレゼントすることにしました。

その結果、応募者が9,000件を超え、うち県外の割合が約93%となり、静岡茶と富士山の全国的なPRができました。



▲富士山頂郵便局の消印を受けた封筒



▲静岡茶を全国に発送する様子

#### 取組にあたって工夫した点は？

・茶を入れて送付する封筒に、「富士山と茶畑」の写真を用い、静岡茶についての説明を加えるなど、静岡茶や富士山に関する情報を効果的に載せることを心がけました。

#### 取組の成果として実感していることは？

・募集方法として、Webサイトや全国紙(読売新聞)、県外のラジオ等を活用したこともあり、応募者数が9,000余件を数え、うち8,000余件が県外からの応募で、静岡茶の全国的PRという部分で一定の効果があったと感じています。また、当選者からメールや電話等で感謝の言葉が伝えられることもありました。

#### 学校法人新静岡学園 大坪理事長から一言

改革のアプローチにPRの視点を活用したのに注目。

改革により“効果をあげる”のには、コミュニケーションに受け手の視点 ⇒ 関心を高める情報のデザイン(料理法)力が重要なことを証明した事例です。新手法・新発想を高く評価します。

# ひとり1改革運動

## 「富士山の世界文化遺産登録を応援しよう」改革賞

意外に多い来訪者全員に、「富士山」をお土産に渡しています

【企画広報部 ふじのくに大使館(東京事務所)】



ふじのくに大使館(東京事務所)は官公庁やオフィスの多い地区に立地していますが、食や観光等の情報を求めて、1ヶ月に約400名の一般の方が来訪されます。

そこで、事務所内外にある3ヶ所のPRスポットを連動させて、世界遺産登録を目指す「富士山」を強く訴求する展示に切り替えました。また、展示や冊子にはキャッチコピーや簡単な解説をつけ、来訪者に印象づけました。

その結果、来訪者の「富士山情報」への接触度合いが高まり、「富士山」への興味と理解が進みました。

### 取組にあたって工夫した点は？

- ・世界文化遺産に関する情報だけでなく、富士山の美しい姿、文化(絵画や百人一首等)、環境保全、観光情報、特産品など幅広い情報を持ち帰っていただくよう配慮しました。
- ・パンフレット等には簡単な解説をつけ、来訪者の興味や探求心が高まるよう配慮しました。

### 効果として実感している点は？

- ・ほとんどの来訪者が、事務所入り口正面の富士山情報コーナーで長く足を止め、解説を読み、興味のあるパンフレット等を持ち帰るようになりました。
- ・いままで、数多くのパンフレットの中に埋もれていた情報を、整理・集約しつつ打ち出すことで、世界文化遺産登録を中心とした「富士山情報」への接触度合いが大きく高まったと感じています。



▲事務所前の掲示コーナー  
…富士山の雄大な姿を紹介

### ▼カウンターへの 各種リーフレットの配架



### 「富士山を知る旅へ」

富士山を、「信仰」、「芸術」、「火山」の視点からめぐるガイドブック。悠久の歴史が脈々と息づく、日本文化の原風景へとあなたを誘います。

▲展示物の解説文

### 職場全体として改善を進めるために工夫していることは？

- ・事務所には、行政連絡、企業誘致、広報の3班がありますが、班にかかわらず、来訪者から質問等があった場合は最寄にいる者がすぐに対応するなど、気持ちよく情報を得ていただくようにしています。

### 静岡文化芸術大学 田中教授から一言

あまり手間暇をかけなくても、ちょっとした工夫で効果的な取り組みができることを教えてくれる好例です。東京の永田町という場所で、世界文化遺産登録をめざす富士山の広報をした発想もタイムリーです。担当の職員の方々が楽しんで取り組めそうな点もこの事例のすばらしいところです。

# ひとり1改革運動

## 「富士山の世界文化遺産登録を応援しよう」改革賞

### 関係機関連携による富士山クリーン作戦

【くらし・環境部 自然保護課】



富士山一斉清掃は毎年行っていますが、山梨側登山口、静岡側登山口ではそれぞれ登山口ごとに異なった日で実施していました。

そこで、富士山の世界遺産登録へ向け、環境省の呼びかけで、国・静岡県・山梨県・市町村等関連機関が連携し、統一して一斉清掃を実施するとともに、関連イベントとして、環境保全団体と連携し、富士山ビューポイント等での「富士山みがきあげ作戦」を実施しました。

その結果、両県地元市町村等が一丸となって取り組むことができ、世界遺産登録に向けた機運が高まりました。

#### 取組にあたって工夫した点は？

- ・五合目以上では、目立ったごみは少ないことから、単なる清掃活動ではなく、ごみの無い状態を継続していくことが大切であるとの認識を定着するための意識醸成に重点をおきました。
- ・環境保全団体と連携し、関連イベントである、すそのからの富士山みがきあげ作戦への参加呼びかけを重点的に行いました。

#### 効果として実感している点は？

- ・富士山を守り引き継ぐための取組が国内外へアピールされたことで、世界遺産登録に向けた機運醸成にも効果をあげたと考えています。
- ・今回、一斉清掃が富士山4登山口で同日に実施されたことによる話題性や、富士山周辺での関連事業等に多くの参加があったこと等が新聞等でも取り上げられました。



▲開催セレモニーの様子(富士宮口5合目メイン会場)

#### 今後に向けた取組は？

富士山関連機関と連携を図り、富士山の環境を守り引き継ぐための取組を継続するとともに、様々な機会を活用し、保全意識の高揚を図るための広報を重点的に実施していきたいと考えています。

#### 静岡県立大学 西野教授から一言

富士山の世界遺産登録のような、地域から世界レベルに及ぶ施策を有機的、効果的に実施するには、国、自治体、民間団体の間の密接な連携が欠かせません。また、世界遺産登録に向けては地元の意識を喚起し、内外に強い熱意を適切な行動でアピールする必要がありますが、本取組はこうした複数の狙いを施策の集中的実施によっても実現しており、大変有効であったと言えます。

# ひとり1改革運動

## 「協働を推進しよう」改革賞

### アカウミガメ保護における連携

【くらし・環境部 自然保護課】



アカウミガメは、ワシントン条約で保護されている国際希少野生動物種であり、本県では、県立自然公園条例で、アカウミガメとその卵の捕獲を規制し罰則の対象とするとともに、NPOに委託して卵を孵化場へ移植するなどの保護対策を実施してきました。

ところが、本年6月の早朝、遠州灘海岸においてNPOが卵の盗掘の被害を確認し、周辺の海岸で不審者を目撃する事態が発生しました。

そこで、警察、NPO、行政、住民の連携による通報・検挙の体制づくりを行うこととしました。

その結果、被害を未然に防ぐ監視体制や、盗掘が発生した場合の協力体制を構築することができました。

参考（啓発パンフレット）



### アカウミガメの卵を探ることは禁止されています

御前崎遠州灘県立自然公園の海岸には5月中旬～8月下旬にかけて、アカウミガメが産卵のために上陸します。

県立自然公園の海岸では、許可を受けずにアカウミガメを捕獲したり、その卵を採取することはできません。

- ①アカウミガメの産卵を見かけたら、そっと見守ってあげましょう
- ②卵の盗掘行為を見つけたときは、警察(110番)に通報して下さい

※卵を守るために、自然保護団体等が許可を受けて、保護活動をしている場合もあります。

### みんなでアカウミガメを大切に守りましょう



・御前崎遠州灘県立自然公園運営協議会  
（吉田町・牧之原市・御前崎市・掛川市・  
菊川市・袋井市・磐田市・静岡県自然保護課）

▲啓発用リーフレット



▲海に帰るアカウミガメ



▲卵を保護する様子

### 取組にあたって工夫した点は？

- ・御前崎遠州灘県立自然公園管内の5つの警察署を訪問し、捜査への協力を依頼しました。
- ・自然保護団体と連携し、警察が盗掘現場を検証する際に立ち会うことで、卵がアカウミガメのものであるかどうかをスムーズに確認できる体制を構築しました。
- ・アカウミガメの保護と盗掘者の通報を促すリーフレットを作成し、市町から沿岸の自治会に対し、回覧板等で地元住民の協力を呼びかけました。

### 今後に向けてさらなる取組は？

- ・今後も関係機関の連携を維持していくため、アカウミガメが産卵のために上陸を始める5月には、毎年、関係機関への協力要請を継続的に実施していきます。

### 効果として実感している点は？

- ・警察や地元市町、NPOと協議をしたことで、互いに信頼関係が築かれ、実効性のある対策を構築できました。

静岡大学 日詰教授から一言

産卵されたアカウミガメの卵を盗掘から保護するため、県—地元警察—地元市町—NPOとの連携体制を構築し、監視することはとても効果的な取組みです。盗掘を防ぐためにはこのような関係機関による協力体制が不可欠です。このような協力体制が、必ずや盗掘の未然防止に貢献するはずです。

# ひとり1改革運動

## 「協働を推進しよう」改革賞

### 関係機関との協働による県内事業者向け改正水質汚濁防止法説明会の開催

【くらし・環境部 生活環境課】



国が開催した改正水質汚濁防止法の説明会に参加できなかった旨の問い合わせが、県内事業者から多数寄せられ、県で説明会を開催することが必要だと感じていました。

そこで、政令市・特例市・関係団体の協力を得て、県内4箇所で説明会を開催することとし、受付窓口を県、会場確保を政令市・特例市、説明会の費用は協賛いただいた関係団体に依頼するなど、コストを可能な限り抑えた上で、それぞれの役割を明確化して取り組みました。

その結果、延べ720名以上の県内事業者に質の高い情報を提供することができました。



▲説明会の様子

#### 取組にあたって工夫した点は？

- ・県で役割分担を明確にした計画書を作成し、各担当者と事前調整したことで、短時間で準備から開催まで進めることができました。
- ・受付に県の簡易電子申請システムを利用することで、各会場の参加状況を常に把握し、効率的な取りまとめを行いました。
- ・国の資料をもとにテキストを作成し、説明会終了後も県HPや関係団体の機関誌に掲載することにより、周知を図っています。

#### 取組にあたって留意した点、苦労した点は？

- ・説明会開催のための予算がなかったため、関係団体には趣旨に賛同していただいた上で協賛してもらう必要がありました。
- ・説明内容は、県が主導で取りまとめましたが、関係機関の意向等も配慮しながら進めました。

#### 取組後の感想は？

県の内部のみならず多くの関係機関と連携して業務を実施することで、より行政施策の推進が図られる貴重な経験の場となりました。

#### 効果として実感している点は？

- ・費用を最小限に抑えた上で、720名以上の参加者が得られました。
- ・説明会を協力して開催したことで、以前よりも各市担当者と連絡を取り合い、情報交換することが多くなりました。

#### 静岡県立大学 西野教授から一言

新たな法規制に絡む国の説明会に参加できなかった事業者向けに、予算ゼロにも拘わらず、関係する4市と連携し、機能分担して説明会開催にこぎつけ、多くの事業者のニーズに応えたことは、前向きに行政サービス提供を行う姿勢の表れです。

本取組により自治体担当者のネットワークが形成されるなど、副次的な効果も大きいです。

# ひとり1改革運動

## 「協働を推進しよう」改革賞

### 地価調査・地価公示GISマップの作成

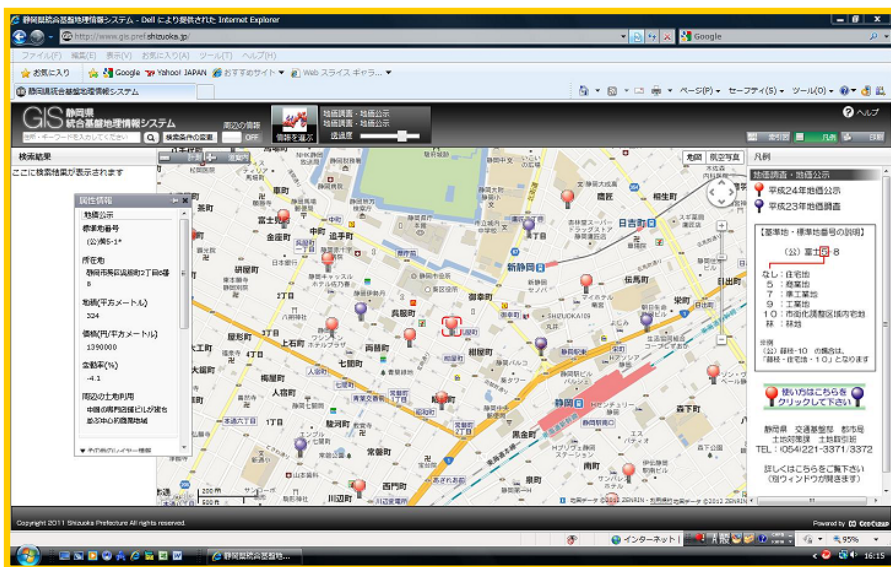
【交通基盤部 土地対策課】



県民の方が、ホームページの地図上で簡単に地価情報を調べられる方法を探していたところ、技術管理課、情報政策課から、県のホームページ「静岡県統合基盤地理情報システム」(以下「県地理情報システム」という。)で地価情報を公開してはどうかとの提案を受けました。

そこで、座標確認、データ整備等を行い、「地価調査・地価公示GISマップ」として公開するとともに、「県地理情報システム」自体も取り上げてもらえるよう広報を行いました。

その結果、テレビ、新聞等で報道され、「県地理情報システム」へのアクセス件数も増加しました。



▲地価調査・地価公示GISマップ

#### 取組にあたって工夫した点、留意した点は？

- ・ホームページを見やすくするため、表示する情報を、所在地、面積、価格、変動率等一般の方が知りたい情報に絞りました。
- ・「県地理情報システム」には、地質情報、都市計画、食の都づくり仕事人、富士山ビューポイント等多種多様な情報が掲載されており、このホームページをもっと多くの人に見て、使ってもらいたいと考え、記者提供資料にシステムの簡単な説明、URLを掲載しました。

#### 効果として実感している点は？

県ホームページサイト内検索キーワードランキング(電子県庁課)で、「土地対策課」や「地価」が上位にランキングされ、「県地理情報システム」のアクセス件数も増加していることから、多くの方に使ってもらっていると実感しています。

#### 協働した所属へのコメントは？

最初に予算を心配しましたが、技術管理課で対応していただき、すぐに取り組むことができました。ホームページでの公開を提案し、エクセルデータの作成例を作っていただいた技術管理課、情報政策課に感謝いたします。

#### 静岡産業大学 松本教授から一言

本件の取組は、日頃からの信頼関係構築の重要性を確認させてくれます。また、取組のきっかけから実現に至るまでの経過から、職場におけるプロジェクト管理能力と改善に向けた職員の意識の高さが感じられます。他の職場でも参考とすべき好例と思われま